

行研究は、発表者の知る限り存在しない。例えば、トルコ語の形態論を扱った Korkmaz (2003) は $-sA=(y)DI$ を「条件法の過去 *şart kipinin hikâyesi*」と呼び、この形式が条件節の述語として使用されている例を 23 例提示しているが、帰結節の述語に $-(A/I)r=(y)DI$ と $-(y)AcAK=(y)DI$ 以外の例が用いられているものは、韻文以外には挙げられていない (Korkmaz 2003: 655–657)。

一方で、実際の言語使用においてはこれら以外の形式も使用されていることが確認できる。網谷 (査読中) は、ニュース記事を対象としたコーパス調査で、反実仮想条件文の帰結節の述語としての使用が観察される形式をリストアップした。その結果、前述の 2 形式に次いで用例数が多いのは $-mİş=(y)DI$ であることが判明した³。 $-mİş=(y)DI$ は反実仮想条件文以外において、(2) のように過去における出来事の完了や、単なる過去の出来事を表すのに用いられる形式である。

- (2) Dön-düğ-üm-de herkes yat-mış=tı.
return-VN-POSS.1SG-LOC everyone go.to.bed-PRF=COP.PST

「私が家に帰ったとき、みんな寝てしまっていた」

(Göksel & Kerslake 2005: 328)

網谷 (査読中) は、帰結節の述語が $-mİş=(y)DI$ である反実仮想条件文に結果の継続を表す時の副詞句がよく共起していることが観察され⁴、完了相の読みを持つことから、この形式が完了の接辞 $-mİş$ を含む $-mİş ol-(A/I)r=(y)DI^5$ のバリエントとして用いられているという仮説を立てた。(3) の帰結節の述語には $-mİş=(y)DI$ が用いられており、副詞句 *şimdi-ye kadar* ‘now-DAT until’ が共起している。(4) の帰結節の述語には $-mİş ol-(A/I)r=(y)DI$ が用いられており、副詞句 *bugün-e kadar* ‘today-DAT until’ が共起している。以下では、副詞句を斜体で示す。

- (3) Eğer diğer parti-ler ol-muş ol-sa=ydı şimdi-ye kadar birçok hak-lar
if other party-PL be-PRF be-COND=COP.PST now-DAT until many right-PL
al-ın-mış=tı.
take-PASS-PRF=COP.PST

「もし他の党になっていたら、現在までに多くの権利が奪い取られていただろう」

(網谷 査読中)

3 用例数そのものは多くないことを断っておく。調査対象となった 766 例のうち、帰結節の述語が $-mİş=(y)DI$ であるものは 9 例 (1.2%) のみであった。ただし、766 例の中には帰結節が定形ではないものも含まれているため、述語が定形の反実仮想条件文に絞って調査を行うと、述語が $-mİş=(y)DI$ であるものの割合はもう少し大きくなることが予想される。

4 9 例中 4 例が結果の継続を表す時の副詞句と共起していた。

5 Göksel & Kerslake (2005) は反実仮想条件文ではない文に現れる $-mİş ol-(A/I)r=(y)DI$ について「過去における習慣的な状況を表現しているとも、条件が満たされていたら起こったが実際には起こらなかった状況を表しているとも解釈されうる」と述べる (Göksel & Kerslake 2005: 369)。(i) がその例である。

(i) Saat dört-e kadar mektup-lar postala-n-mış ol-ur=du.
time four-DAT by letter-PL post-PASS-PRF be-AOR=COP.PST
「4 時までには手紙は投函されていた／投函されていたろう」

(Göksel & Kerslake 2005: 369)

(4) [...] hakk-ın-da açığ-a çık-ma-sın-ın zarar ver-eceğ-i
 right-POSS.3SG-LOC open-DAT go.out-VN-POSS.3SG-GEN harm give-PTCP-POSS.3SG
 bazı gizli bilgi-ler ol-sa=ydı, bugün-e kadar bun-lar
 some secret information-PL be-COND=COP.PST today-DAT until this-PL
 ifşa ed-il-miş ol-ur=du.
 disclosure do-PASS-PRF be-AOR=COP.PST

「[...] それについて明るみになることが損害を与えるような機密情報があったら、今日までにそれは暴露されていただろう」

(網谷 査読中)

本研究は、反実仮想条件文の帰結節に生起する $-mİş=(y)DI$ の記述が十分になされていないことを問題と捉え、容認度と文体の調査を行うことで網谷（査読中）の仮説の検証を進めることを目的とする。

2. 調査

前節の問題提起を受け、発表者は2点の調査を実施した。本節では、調査方法と結果を示す。

2.1. 調査①：聞き取り調査－容認度について

反実仮想条件文で $-mİş=(y)DI$ が $-mİş ol-(A/I)r=(y)DI$ のバリエーションとして使用されるのであれば、この2形式は文中で自由に交替できることが予測される。このことを確かめるために、聞き取り調査を行った。聞き取り調査には、2名のトルコ語母語話者（1989年生、ボル出身；1990年生、アンカラ出身）にご協力いただいた。調査方法は以下の通りである。

網谷（査読中）で挙げられている、帰結節の述語が $-mİş=(y)DI$ または $-mİş ol-(A/I)r=(y)DI$ の形式である反実仮想条件文の一部修正し、述語をもう一方の形式に置き換えられるか母語話者2名に尋ねた。質問は紙面を用いて行った。述語の部分为空欄にした19例について、上記の2種類の述語のうち適切なものを選択していただいた（複数回答可）。(5)がその例である。

(5) Bu laboratuvar-lar özel sektör-e ait ol-sa=ydı, çoktan
 this laboratory-PL private sector-DAT belonging be-COND=COP.PST long.since
 kapat-ıl-mış=tı. / kapat-ıl-mış ol-ur=du.
 close-PASS-PRF=COP.PST / close-PASS-PRF be-AOR=COP.PST

「これらの研究所が私営だったら、とっくに閉鎖されていただろう」

調査結果は以下の通りである。

表 1 に示すように、合計 18 例⁶のうち 10 例については 2 名とも、*-ml̥s=(y)DI* も *-ml̥s ol-(A/I)r=(y)DI* も使用可能であると回答した。7 例については 1 名が両方の形式を使用可能、もう 1 名がどちらかの形式を非文であると回答した。1 例については 2 名とも、両方の形式が使用可能なわけではないと回答した。

少なくとも 1 人によってどちらかの形式が使用できないと判断された例の内訳は、表 2 に示す通りである。8 例のうち 5 例は *-ml̥s=(y)DI* の場合に非文、3 例は *-ml̥s ol-(A/I)r=(y)DI* の場合に非文であると判断された。

表 1 調査①の結果：全ての例の内訳

	2 名とも	1 名のみ	0 名	合計
<i>-ml̥s=(y)DI</i> 、 <i>-ml̥s ol-(A/I)r=(y)DI</i> ともに適格	10 (55.6%)	7 (38.9%)	1 (5.5%)	18 (100%)

表 2 調査①の結果：非文と判断された例の内訳

	1 名のみ	2 名とも	合計
<i>-ml̥s=(y)DI</i> は非文、 <i>-ml̥s ol-(A/I)r=(y)DI</i> は適格	4	1	5
<i>-ml̥s=(y)DI</i> は適格、 <i>-ml̥s ol-(A/I)r=(y)DI</i> は非文	3	0	3
<i>-ml̥s=(y)DI</i> 、 <i>-ml̥s ol-(A/I)r=(y)DI</i> ともに非文	0	0	0
合計	7	1	8

表 1 からは、*-ml̥s=(y)DI* も *-ml̥s ol-(A/I)r=(y)DI* も両方とも使用できる例が過半数を占めたことがわかる。また表 1 および 2 から、話者によって判断が分かれる例が一定数存在することがわかる。

1 名または 2 名が *-ml̥s=(y)DI* では非文になると判断した例は、5 例あった。この 5 例には、特定の副詞句や動詞が使用されているといった形式・意味上の共通点は見出されなかった。ただし、次項で述べる、反実仮想条件文の *-ml̥s=(y)DI* は口語的なレジスターでのみ用いられるという調査②の結果を踏まえると、この 5 例は口語で発話されることが考えにくいような内容であったために非文であると判断された可能性がある。(6) がその例である。以下では、1 名が非文だと判断した例文に ? を付す。

- (6) Meclis, mahkeme karar-ın-ı 4 ay daha bekle-se=ydi,
parliament court decision-POSS.3-ACC 4 month more wait-COND=COP.PST

⁶ 話者 1 名によって、述語以外の原因でそもそも非文であると判断されたものが 1 例あった。この例は調査結果に含めていない。

seçmen irade-si ʔçiğne-n-me-miş=ti. / çiğne-n-me-miş ol-ur=du.
voter will-POSS.3SG violate-PASS-NEG-PRF=COP.PST / violate-PASS-NEG-PRF be-AOR=COP.PST

「議会が裁判所の決定をあと 4 ヶ月待っていたら、有権者の意思が侵害されることはなかっただろう」

1 名が *-mİş ol-(A/I)r=(y)DI* では非文になると判断した例は、3 例あった。このうち 2 例の述語動詞の語幹は *ol-* ‘be’ ないし *ol-* を含む複合動詞 *mahvol-* ‘be ruined’ であり、*-mİş ol-(A/I)r=(y)DI* 中の *ol-* との重複を避けていると考えられる。(7) がその例である。

(7) Bu heykel-ler buz-dan yap-ıl-sa=ydı, şimdi-ye kadar yok
this statue-PL ice-ABL do-PASS-COND=COP.PST now-DAT by non.existent
ol-muş-lar=di. /ʔol-muş ol-ur=du-lar.
be-PRF-3PL=COP.PST / be-PRF be-AOR=COP.PST-3PL

「これらの像が氷で作られていたら、現在までになくなっていただろう」

2.2. 調査②：コーパス調査－文体について

調査①にご協力いただいたトルコ語母語話者 2 名から、反実仮想条件文で用いる *-mİş=(y)DI* は口語的な印象があるとコメントを頂いた。このことを定量的な分析によって確認するために、コーパス調査を行った。

網谷（査読中）がコーパス調査によって抽出した、帰結節の述語が *-mİş=(y)DI* である反実仮想条件文 9 例の出典になったニュース記事を、検索エンジンで検索して確認した⁷。その結果、全て引用符で囲まれた箇所に見えており、地の文で使用されている例はないことがわかった。同様に、述語が *-mİş ol-(A/I)r=(y)DI* についても出典の調査を行った。その結果、10 例中 7 例が引用符で囲まれた箇所、3 例が地の文で用いられていることが判明した。まとめると、表 3 のようになる。

表 3 調査②の結果

	引用符内	引用符外	合計
<i>-mİş=(y)DI</i>	9 (100%)	0 (0.0%)	9 (100%)
<i>-mİş ol-(A/I)r=(y)DI</i>	7 (70.0%)	3 (30.0%)	10 (100%)

-mİş ol-(A/I)r=(y)DI が地の文にも生じたのに対し、*-mİş=(y)DI* は全て引用符内に生起していることから、反実仮想条件文の *-mİş=(y)DI* は口語のレジスターで使用される形式だとわかる。

⁷ 出典は全て本稿末尾に記す。

2つの調査結果をまとめる。 $-mI\varsigma ol-(A/I)r=(y)DI$ と $-mI\varsigma=(y)DI$ が交替できない場合、その理由は文の内容とレジスターの不調和、または動詞語幹の形式にあり、文の意味は関与していない。レジスターについては、 $-mI\varsigma=(y)DI$ が地の文で用いられる例が見出されなかった。以上より、反実仮想条件文の帰結節の $-mI\varsigma=(y)DI$ は $-mI\varsigma ol-(A/I)r=(y)DI$ の口語的なバリエーションとして用いられていると結論づける。

3. おわりに

前節の調査結果を考察し、今後の課題を述べる。

第1節でも触れたとおり、トルコ語の反実仮想条件文の帰結節には、通常は $-(A/I)r=(y)DI$ か $-(y)AcAK=(y)DI$ が用いられる。これらは印欧語族に属する多くの言語が持つような反実仮想の専用形式ではなく、モダリティを表す接辞および接語 $=(y)DI$ ⁸ からなる。両方の接辞で表すことができるモダリティは、動的モダリティ (Palmer 2001: 76) に含まれる意志や、認識モダリティ (Palmer 2001: 24) に含まれる推測である⁹。また、未来については Sweetser (1990) が認知意味論の立場から、推測との意味の関連を指摘している。これは、推測の正しさが明らかになるのがそれより未来においてであるため、未来の意味から推測の意味が派生するという主張であり (Sweetser 1990: 55)、未来が多分にモダリティ的な意味を有していると言える。

反実仮想の形式が必ずモダリティを表す要素を含むと仮定するならば、 $-mI\varsigma=(y)DI$ にもモダリティの意味を担っている要素があることになる。接辞 $-mI\varsigma$ は、後続要素がない場合には完了相と同時に間接性を表す。興味深い点は、(2) のように後続要素がある場合に間接性の意味を持たなくなることである。反実仮想条件文の $-mI\varsigma=(y)DI$ も同様に間接性を持たないならば、この述語にはモダリティを表す要素がないという点で例外的である。

本発表のための調査は、例文の数と出典のジャンルが限定されていた。対象を広げて調査を行い、より妥当性のある分析を示すことを今後の課題としたい。

略号一覧

-接辞境界 / =接語境界 / 1人 人称 / 3人 人称 / ABL 奪格 / ACC 対格 / AOR アオリスト / COND 条件 / COP コピュラ / DAT 与格 / FUT 未来 / GEN 属格 / LOC 処格 / NEG 否定 / PASS 受動 / PL 複数 / POSS 所有 / PRF 完了相 / PSBL 可能 / PST 過去 / PTCP 形動詞 / VN 動名詞

参考文献

Amitani, K. (2023) "An Analysis of Turkish Clitic $-(y)DI$ Based on Exclusion Feature". Tuxtasinov, I. M. et al. (eds.) *Ta'lim sifatini oshirishda muammolar va yechimlar. Xalqaro ilmiy-amaliy anjumani materiallari*. Samarqand: Samarqand davlat chet tillar instituti. pp.36-39.

8 通常、接語 $=(y)DI$ は過去時制を表すと説明されるが、反実仮想条件文に生じた場合は過去時制を示さない。Amitani (2023) は、反実仮想条件文中の接語 $=(y)DI$ は、トピックとなっているのが現実世界ではないことを表していると分析した。

9 ただし、接辞 $-(y)AcAK$ で認識モダリティの意味が現れるのは、動詞 *ol-* に後続した場合のみである。

- Göksel, A. & Kerslake, C. (2005) *Turkish: A Comprehensive Grammar*. London: Routledge.
- Korkmaz, Z. (2003) *Türkiye Türkçesi Grameri: Şekil Bilgisi*. Ankara: Türk Dil Kurumu Yayınları.
- Palmer, F. R. (2001) *Mood and Modality. [Second edition.]* Cambridge: Cambridge University Press.
- Sweetser, E. (1990) *From Etymology to Pragmatics. Metaphorical and Cultural Aspects of Semantic Structure*. Cambridge: Cambridge University Press.
- 網谷晃樹 (査読中) 「トルコ語の反実仮想条件文の帰結節について」『言語・地域文化研究』31。

調査資料 [最終閲覧：2024.09.16]

- <https://www.bbc.com/turkce/haberler-dunya-38529265>
- <https://www.bbc.com/turkce/haberler-dunya-52200598>
- <https://www.bbc.com/turkce/haberler-dunya-53570757>
- <https://www.bbc.com/turkce/haberler-dunya-41715259>
- <https://www.bbc.com/turkce/haberler-turkiye-47567926>
- https://www.bbc.com/turkce/haberler/2012/03/120319_plastic_bags
- https://www.bbc.com/turkce/haberler/2015/10/151023_caferi_selahattin_ozgunduz
- <https://www.bbc.com/turkce/haberler-turkiye-42844685>
- https://www.bbc.com/turkce/haberler/2015/02/150217_zekeriya_oz
- <https://www.bbc.com/turkce/haberler-53131438>
- <https://www.bbc.com/turkce/haberler-turkiye-37335585>
- <https://www.bbc.com/turkce/haberler-dunya-52218787>
- <https://www.bbc.com/turkce/haberler-dunya-39281019>
- <https://www.bbc.com/turkce/haberler-dunya-53754284>
- <https://www.bbc.com/turkce/haberler-turkiye-53264380>
- <https://www.bbc.com/turkce/haberler-turkiye-45107029>
- <https://www.bbc.com/turkce/haberler-turkiye-36862960>
- <https://www.bbc.com/turkce/haberler-dunya-39634190>
- <https://www.bbc.com/turkce/haberler-turkiye-54194581>